



毎年大勢の参拝客で賑わう  
「普賢まつり」



光ふるさと郷土館のイベントで  
行われた「木遣り太鼓」



勇壮な「早長八幡宮の秋祭り」



古い街並みと静かな佇まいの「海商通り」

室積は古くから北前船の寄港地として栄え、普賢寺への参詣客や商人たちで大いに賑わいました。しっくい塗りの白壁と格子戸の古い家が建つここ「海商通り」は、風光明媚な景色にも恵まれ、かつての風情を味わえる静かな観光スポットになっています。

「海商通りの魅力は、古い町並みと静かな佇まい。ほっとできるオアシスのようなところですよ。」と語る室積観光ボランティアガイドの松井さん。今回は、11月3日に行われた「光市再発見、みんなで見よう第2回市民ツアー」に同行し、海商通りの魅力と、室積の遺産を守る地元の方々の取り組みを、エプロン特派員さんが取材しました。



エプロン特派員  
青木千歳さん

市では、「海商通り」を中心とした室積地区の伝統的景観を守り、後世に引き継いでいくため、その中核的な施設として、平成5年9月に「光ふるさと郷土館」を整備。また、地域の皆さんの理解と協力をいただきながら、町並みの保存と再生に向けて、平成6年度から「町並保存事業」を実施してきました。

地域においても、こうした行政での取り組みにあわせ、「海商通り」を活性化していくよう、もっと盛り上げていくといった活動が展開され、これまでにいくつかの団体が発足しました。

その代表的なものとして、光ふるさと郷土館を核とした室積海商通りを創出し、歴史と文化の出会いがあるまちづくりの推進を目的として、平成4年に「ふるさと室積『海商通り』の会」が発足。町並保存事業の推進や、町並保存事業の先進地視察、機

「海商通り」を守るため、地域において、さまざまな活動が行われています。

# MURAKAMI

通りを吹き抜ける潮風に  
いにしへの賑わいを感じて

## 室積 海商通り